

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル



Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

3325・3326
号を合併号とし、3月
14日付で発行します。

産総研や東大など13法人 NEDOの事業成果集約プラットフォームを構築 レーザー光源や加工機を連携させ、最適な加工条件を探索

産業技術総合研究所や東京大学など13法人が、NEDOが2016年度から2020年度まで実施中のプロジェクト「高輝度・高効率次世代レーザー技術開発」で開発された最先端のレーザー光源や加工機を集約し、プラットフォーム「柏IIプラットフォーム」を構築した。

■効率的で迅速な最適加工条件の探索ができるものづくりの実現へ
プラットフォーム「柏IIプラットフォーム」は、各装置が持つ加工品質の計測・評価技術やデータベースといった共通基盤技術を組み合わせることで、レーザー加工の課題解決に寄与する。



加工ユーザーは本プロジェクトで開発された最先端のレーザー光源やレーザー加工機を容易に利用できるほか、集約さ

れたレーザー技術と共通基盤技術、データベースの効果や適用可能性などを検証することができ

NEDOと13法人は今後、レーザー加工に関する

と連携し、さまざまな材質、用途での加工事例を蓄積していくことで、本プラットフォームの機能向上に取り組む。

これにより各種装置の特性とユーザーニーズの効率的なマッチングや装置横断的な加工データ取得を実現し、効率的かつ迅速な最適加工条件の探索が可能なものづくりの実現を目指すとともに、日本の競争力強化に貢献するとしている。

■「高輝度・高効率次世代レーザー技術開発」(2016年度～2020年度)の成果
NEDOプロジェクトとして、さまざまな特徴を持つ、最先端のレーザー光源・加工機を開発したレーザー光源や加工機を東京大学柏II

特に、難加工材の高品位加工を目指した今までにない短波長の高輝度レーザー加工機や、広範囲の焼き入れ加工などを可能とする高出力半導体レーザー、銅のマイクロ溶接などで期待される高出力高輝度青色半導体レーザー、加工や計測用途に期待される短波長ファイバーレーザーは同プロジェクトで新たに開発した技術。

想定される用途での早期実用化を進めるとともに、構築した加工プラットフォームで幅広くユーザーを掘り起こしていく予定。同プロジェクトで開発したレーザー光源や加工機を東京大学柏II

【参加13法人】東京大学、産業技術総合研究所、三菱電機、スペクトロニクス、大阪大学、浜松ホトニクス、パナソニック、パナソニックスマートファクトリーソリューションズ、金剛光波、千代田大学、レーザー技術総合研究所、ギガフォトン、島津製作所

産総研製作所と産総研「粒子計測連携研究ラボ」を設立

世界トップレベルの粒子計測を可能とするシステムの実用化をめざす

産総研製作所と産総研「粒子計測連携研究ラボ」を設立し、2月1日から稼働を開始した。

連携研究ラボでは、産総研と産総研製作所が有する最先端の分析・計測技術、材料評価技術を掛け

合わせたオープンイノベーションによる研究開発を推進する。

人々の安全・健康を守るための環境課題の解決や、イノベーションの担い手として期待されるナノ材料の開発に寄与する、世界トップクラスの粒子計測を可能とするシステムの実用化に取り組む。

▽ナノ材料特性の解析・評価システム開発・産総研製作所がもつナノ粒子解析装置を用いて実測データを積み上げ、カーボンナノチューブやセルロースナノファイバーとい

▽環境規制強化に対応する粒子計測システム開

研究の内容

- 今週の主な記事**
- ① NEDOプラットフォーム構築、粒子計測ラボ設立
 - ② 計量関連企業2021年3月第3四半期(2)
 - ③ コロナが経済に及ぼしている現状(1)
 - ④ 計量行政情報「主として地方計量行政」
 - ⑤ 指定検定機関指定の申請の考え方(6・2版)(3)
 - ⑥ NNS研究会総会「感覚量による計測の新展開」(4)
 - ⑦ 2020年度経済大臣表彰・局長表彰(3)
 - ⑧ 社説 島津PCB試験海外輸出、イシタお別れの含みが
 - ⑨ チョー温度計2種、愛知時計がNTTテレと協業、ほか
 - ⑩
 - ⑪
 - ⑫

SHIMADZU Excellence in Science

分析天びん
Analytical Balances
AT-Rシリーズ

新型分析天びん 利便性が向上したベーシックモデル

AT-Rシリーズ8モデル:最小読取り0.1mg

応答性/安定性を自在に設定

応答性・安定性が自在に変えられる「スマートセッティング」
5段階のインジケータがあり、測定中にレスポンス重視(R)
スタビリティ重視(S)をカンタンに切替え可能

USBとRS232CでPC接続可

PC、PLCとの接続に便利な2種類のインターフェイスを標準装備
PCへひょう量値を直接転送することでヒューマンエラーを防ぐ

イオナイザ(除電器)併用で安定計量

イオナイザSTABLO-AP(オプション)を使用して、
サンプルや容器を無風で素早く除電。
静電気による影響を排除し手間なく信頼性の高い計量を実現



はかりとり作業は R(レスポンス重視)で
振動が気になるときは S(スタビリティ重視)で



株式会社 島津製作所 分析計測事業部

AT-Rシリーズの特徴を、わかりやすく解説
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/at_r_d.htm

